

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	中嶋 奈津子
研究テーマ	早池峰大償神楽の継承と伝播—旧南部藩領内における修験系神楽の広がりの変遷
研究概要	岩手県花巻市の早池峰大償神楽の近現代における伝播の過程を明らかにする。さらに同じく「早池峰神楽」と称される岳神楽や周辺地域の「他流」とされる修験系神楽との比較を行い、早池峰山麓の神楽集団の本質を明確にする。さらに2019年度までの研究成果を踏まえて、旧南部藩領内の修験系神楽の広がりの変遷を明らかにしてゆく。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>令和2年度は、早池峰大償神楽の近現代における伝播の過程を明らかにするために、弟子神楽が複数存在する旧石鳥谷町（現花巻市石鳥谷）を中心に調査・研究を行い、神楽に関わる複数の歴史的資料が見つかるなど成果を上げることができた。これにより、化政期に早池峰神楽が石鳥谷関口に伝わり（関口神楽の成立）、さらに明治時代までの間に関口から周辺地域に大償系の神楽が伝播された過程を解明できた。また大償神楽と関口神楽、そしてその弟子との師弟構造を明らかにすることができた。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>①研究発表「八木巻神楽の近現代を追う—神楽の経過・周辺神楽との関係性など—」岩手民俗の会 令和2年度研究発表会 2020年7月11日岩手県立大学アイーナキャンパス</p> <p>②研究発表「石鳥谷町における早池峰大償系神楽の伝播と変遷について」東北民俗の会 研究発表会 2020年10月17日 仙台市民会館</p>
3. 競争的資金等への応募と採択	<p>①研究課題「神楽の継承と伝播の研究—なぜ、早池峰神楽は継承できたのか—」学術研究助成基金助成金、基盤研究（C）20K01201、研究期間2020年4月—2023年3月</p> <p>②斎藤英喜氏の科研、研究課題「神楽の中世的展開とその変容」（基盤研究（C）19K00092）の研究分担者に採用、研究期間2019年4月—2022年3月</p>
4. 今後の課題	<p>早池峰山麓の地域（岩手県花巻市石鳥谷、宮古市川井、遠野市を中心に）における早池峰神楽の伝播の経路と継承システムの解明。および早池峰神楽と周辺地域の「他流」とされる修験系神楽との比較を行い、早池峰山麓の修験系神楽の本質を明確にすることを継続課題とする。</p>